



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成31年4月16日 第1号

発行者：校長 菅野 定行

新年度のスタートです。

今年度も「実況中継」で学校の様子や取り組みを随時お知らせいたします。



平成31年度 入学式 式辞より

例年になく暖かだった冬も終わりを告げ、各地から桜の便りが聞かれる頃となりました。

本日 東松島副市長 加藤 慶太 様、本校PTA会長 沼田 利恵 様 をはじめとする多くのご来賓のご臨席を賜り、平成31年度入学式を挙げていきますことは、我々職員一同、大きな喜びでございます。

ただいま入学を許可した160名の新入生の皆さん、今君たちは晴れて石巻西高生として入学を認められました。おめでとう。また、今日まで限りない愛情を注ぎ、お子様の成長を見守り、支えてこられた保護者の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

本校は1985年に全日制普通科の男女共学校として設立された、創立35年目を迎える若い学校です。伝統に縛られない自由な校風のもと、地域に根ざした進学校として学校づくりを進めてまいりました。開校以来、人権や多様性の尊重を基盤とした国際理解教育に積極的に取り組んできました。また、被災地に位置する学校として、防災交流事業や防災体験学習にも力を入れております。さらに、今年度からインターンシップや地域課題研究などの取り組みをスタートさせ、石巻地域の復興・発展を担う人材となるために必要な力を身につけさせる予定です。

本校が立地する東松島市が昨年SDGs 未来都市に選定されたことを、皆さんはご存じでしょうか。「SDGs」とは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称です。2030年までに持続可能な世界を実現させるための17の

到達目標が定められています。その目標とは「貧困や飢餓の根絶」「女性の社会進出の促進」「再生可能エネルギーの利用」「不平等の是正」「気候変動への対策」などであり、東松島市ではこれらの取り組みに積極的に関わってまいります。しかし、これらの課題はどれ一つとっても解決は容易ではありません。君たちが活躍する今後の社会では、今までに人類が直面したことのない課題と正面から向き合い、答えのない問いに挑戦する姿勢が求められます。石巻西高校での3年間の学びを通して、そのための基本的な力を身につけてもらうことを我々は願っています。

さて、新入生の皆さん、明日からの西高での生活にどのような思いを抱いているでしょうか。期待、不安、さまざまな思いがあるでしょう。そんな皆さんに次のことをお伝えします。

高校では中学までと比べ、生徒一人一人が自律的に動くことを求められます。自ら学び、判断し、行動する。自ら積極的に仲間と関わり、対話を重ね、ともに成長する。先生方は君たちのことを熱心に指導していただきますが、丁寧に指導して下さるのは始めのうちだけです。徐々に自分で動くことができるよう、君たちに任せていくはずで。小さな失敗は気にしないでください。他人に助けられてミスなく過ごすより、失敗から学ぶことの方が何倍も大切です。その方が君たちをたくましくさせてくれます。わからないことがあれば我々はいつでも相談に乗りますが、少しずつ自分で考え、判断・行動できるようになってほしい。とにかく我々は君たちの高校生活を全力で支援します。そして、君たちが安心して生活できる学校づくりを行います。

保護者の皆様、本日は年度はじめのお忙しいところ、本校入学式にご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいま申し上げた本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。お子様方にとって、この学校で過ごす3年間は、将来社会でたくましく生きていくために、きわめて大切な時期です。また一方で、肉体的にも精神的にも発達を遂げる中で、さまざまな悩みや不安を抱く時期でもあります。生徒たちの健全な成長と豊かな個性をはぐくむとともに、生徒にとって安全で安心な環境を整えるためにも、学校と家庭とがそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携してお子様の成長を支援できますよう、重ねてお願いを申し上げます。

新入生の皆さんにとって充実した高校生活が繰り広げられるであろうことを期待し、入学式の式辞といたします。

宮城県石巻西高等学校 校長 菅野 定行

平成31年度新任式

4月8日(月)新学期のスタートです。新しく着任された先生方をお迎えいたしました。

新任者を代表して、熊谷教頭から「皆さんとともに、防災教育や国際理解教育、そして地域連携事業など、さまざまな取り組みの一助となれるように頑張っていきます。「チーム石巻西」の新たな一員として、よろしくお願ひします。」という挨拶がありました。



【生徒会長からの歓迎の言葉】

平成31年度始業式 講話より

新任式後に始業式が行われました。



【始業式 校長講話】

おはようございます。今日は始めに少し体を動かしましょう。

【アイスブレイク・後出しジャンケン】

皆さんは「アイスブレイク」という言葉を聞いたことがありますか。新年度、新しいクラスで初めて一緒になるクラスメイト、あまり話したことのない担任の先生。新しい環境って気を遣うものです。緊張して場の空気が重くなりがちですね。アイスブレイクとは、そんな場の空気を温めるための手法のひとつです。簡単な会話やゲームなど

で参加者がお互いに口を開いたり、行動を起こしたりすると場の緊張が解けやすくなります。場の緊張感や重たい空気を「氷」にたとえ、その「氷を壊す」という意味で「アイスブレイク」と言われています。今やってみた「後出しジャンケン」もその一つです。

学校は学びの場です、そして君たちが成長する場所でもあります。ですから頑張りを求められることや苦しいことも当然あるでしょう。しかし同時に、学校とは君たちにとって一番長い時間を過ごす居場所でもあります。朝8時過ぎから夕方6時頃まで学校で過ごすとなると約10時間。ですから学校は君たちにとって安全・安心な環境でなければならない、と私は考えますし、先生方にもそのようにお願いしています。その条件を満たして初めて君たちは思いきり学びに向き合うことができるわけです。

いつも言っていますが失敗は君たちを成長させます。人間関係も同じです。友人とのトラブルや担任の先生との行き違い、これだけ大勢の人間がいるのですから避けて通ることはできません。相手を不愉快にさせたり、逆に自分がいやな思いをしたりすることもあるかもしれません。大切なのはその後、ぎくしゃくした関係を修復する力をつけてほしいと思います。ただ、自分たちだけで解決できないとき、あるいは一人で抱え込んでしまいそうなときは、遠慮なく先生方を頼ってください。保健室や相談室に相談する手もありますね。

この後新しい担任の先生や部活動顧問の先生が発表されます。ロングホームルームでは自己紹介や役員選出があるでしょう。すべてのクラスが居心地のいいクラスになるといいですね。そのためにも一人一人が当事者意識を持ち、よいクラスづくりを心がけてほしいと思います。中には新しい環境に適應するのがあまり得意でない人もいるかもしれませんが。どうかそのような仲間のことも気にかけてください。

これからの1年間が君たち一人一人にとって充実した日々となることを期待して、始業式の講話を終わります。



【アイスブレイクの様子】